



# JFEシビルの ガスホルダー・タンク解体工法

スーパージャッキシステム テクニカルノート

## ● ジャッキダウン解体工法

タンクの下部に設置したジャッキで躯体をつり下しながら、地上で解体撤去を進めます。



## ● 特長

1. 大型の重機を必要とせず、工場内の狭小なスペースにて施工可能です。
2. 高所作業が少なく安全性が高いうえ、火気や飛散物の対策も確実です。
3. 地上で解体を進めるため、作業効率が良く経済性に優れます。



### 20万m3ガスホルダーの解体状況

- ・高さ102m、外径58m、重量1500トン
- ・外周に200トンジャッキを13台設置
- ・ジャッキで躯体を吊った状態で地上で外壁、支柱を切断撤去し、その後ジャッキダウンする工程を繰り返す。



解体が進むにつれて次第に低くなっていくガスホルダー



地上で一般の重機を用いて壁板・支柱を切断撤去する。

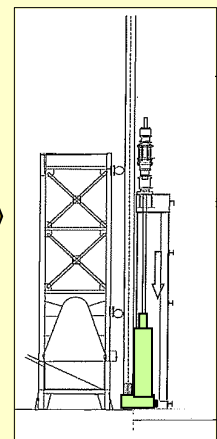
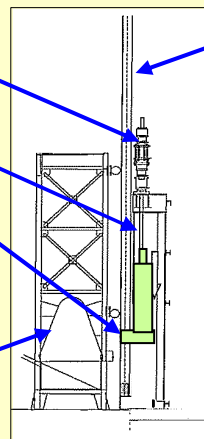
アップダウンジャッキ

ステップロッド

吊フック

内部の架構で水平力を支持

支柱



フックにて支柱を吊った状態で躯体を切断撤去し、ジャッキダウンを繰り返す。



JFEシビル 株式会社

## スーパージャッキシステム

〒111-0051

東京都台東区蔵前2丁目17番4号 JFE蔵前ビル  
都市基盤営業部 特殊工法グループ

TEL 03-3864-5293

FAX 03-3864-3735

<http://www.jfe-civil.com/tokkou/index.html>

